

大麦情報(1号)

令和7年9月19日
砺波農林振興センター
JAなんと営農部

JA なんとの令和7年産大麦の単収は細麦の発生等により213kg/10aと平年(280kg/10a)より少なくなりました。

今年も排水対策を徹底し、収量向上を図りましょう。また、播種量と施肥量を遵守し、適正生育量に誘導しましょう。

- ① 作付けは早生あとほ場を基本とする。
- ② 排水対策をすぐに実施する。
- ③ 深さ30cm以上の額縁排水溝を必ず設置する。
- ④ 播種量と施肥量は基準量とする。

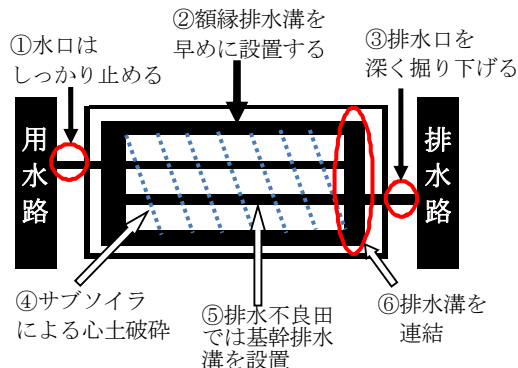
根が少ないと、肥料を十分吸収できない



図 額縁排水溝の有無と根の違い
(H30: 止葉展開期)

1 排水対策

- ・スクリーオーガ等で額縁排水溝を設置し、排水口としっかり連結しましょう。
- ・サブソイラで心土破碎を2~3m間隔で行い、ほ場の排水性を高めましょう。
- ・排水対策を実施しても乾かない場合は、乾燥しているほ場へ切り替えましょう。



2 土壌改良資材、基肥

土壌中のリン酸が目標値以上の場合には施用しない

土壌改良資材等	
資材名	施用量(10a当り)
① シェルホス	100kg
② 苦土石灰	100kg
+粒状ようりん	40kg
堆きゆう肥	2m ³ (1.14t)

基肥		
基肥名		施用量(10a当り)
肥効調節	エコ大麦44号	側条 40~45kg
	Jコート大麦48号	側条 40~45kg
分施	基肥555	側条 30kg
		全層 35kg

倒伏した場合は少なくする

3 種子消毒 ~いずれかの方法で消毒しましょう~

(1) 温湯消毒

- ・お風呂を使用: 42℃の湯に浸漬、10時間処理(1時間に1℃下がるようにフタ等で調整)
- ・循環式催芽器を使用: 45℃、2時間30分処理(時間厳守)

(2) 薬剤粉衣

- ・ベンレートT水和剤20を種子重量の0.5%の割合で均一に粉衣する。
(乾燥種子10kgを水200mlで湿らせて、薬剤50gを均一に混和する。)



4 播種作業 ~乾いたほ場から始め、10月上旬までに終える~

(1) 播種量 ~適正穂数に誘導しましょう~

- ・播種時期に応じた播種量を厳守しましょう。
- ・降雨などで播種が遅れる場合は目安に従って播種量を増やしましょう。

表 播種量の目安

播種時期	目標苗立数 (本/m ²)	播種量(kg/10a)	
		ドリル播	表面散播
9月25~30日	140	6.0	6.5
10月1~10日	150	6.5	7.0
10月11~20日	200	8.5	9.0

(2) 耕起、畦立て

- ・耕起作業はほ場が乾いた状態でゆっくりと行い、土を細かくし、出芽・苗立ちを向上させましょう。
- ・畦幅は3m以内とし、深さ20cm以上の排水溝を掘り、額縁排水溝に確実に連結しましょう。
- ・播種作業後は溝と排水口を連結するなど、溝の手直しを必ず行いましょう。

お問い合わせは、JAなんと営農部(62-0261) または 砺波農林振興センター南砺班(32-8147)へ